



認知症サポーター養成講座資料

もちろん、認知症であることを本人や周りの者が早い段階で認識することが、すべての出発点になると思うがどうか。

答 認知症の早期発見、早期対応は重要な課題であると認識しており、これまで取り組んできた諸事業について、今後も全力で対応していく。

公費負担による認知症の検査については、医師会との調整や関係機関との連携が必要となることから、提言の趣旨を十分踏まえ、今後、介護保険事業計画の中での位置づけとして検討していく。

問 認知症を発症しても、安心して生活できる環境をつくることで、本人の認知症の受容と家族など、周りの者が認知症という障害に向き合う覚悟、それを直接支援する医療

福祉関係者の育成、地域ぐるみのサポート体制の整備が必要と考えるがどうか。

答 これまでの支援策とともに、国が提唱している地域包括ケアシステムの考え方を考慮し、医療と介護保険の密接な連携のもとで適切な介護サービスを提供するとともに、本人やその家族の生活を支援し、安心して生活できる環境の整備とサポート体制の充実に努めていきたい。

○その他の主な質問

福祉施策

子ども医療費の無料化措置

高校卒業まで拡大を

栗原二郎
(日本共産党)

問 国は子ども医療費無料化を実施している市町村に対して、国庫負担減額のペナルティを課している。

答 このペナルティについて、本市はどのように考えるのか。また、減額されている国庫負担金の金額は幾らか。子ども医療費の窓口無料化を実施した結果、国の制度

の中で国民健康保険に係る国庫負担金が減額されることは大変残念なことと考える。

減額される金額は、調整交付金が約620万円、療養給付費負担金が約970万円。

埼玉県国保協議会を通じ、制度の廃止を要望している。

問 埼玉県内では、越生町、滑川町、新座市が高校卒業まで、子ども医療費が無料化されている。本市においても医療費の無料化措置を高校卒業まで拡大する考えはないのか。

また、本市において実施した場合の予算は。

答 対象年齢の拡大については、財政状況の厳しい中、現状を維持せざるを得ない。

子ども医療費助成を高校卒業までに拡大した場合、対象者は約250人の増、予算は、拡大分として約3300万円の増加が見込まれる。

●がん検診の受診率の向上に保健師の活用を

問 すべてのがん検診を無料化し、検診を促進する。このことで、「がんから市民を守る」この立場に立つべきではないか。すべてのがん検診の無料化に対する市の考えは。

答 受益者に適正な負担を頂き事業を進めていきたい。

問 受診率を上げていく方法として、保健センターの保健師を活用すべきでは。

答 保健師の力が必要との指摘はそのとおりである。

生涯学習

全国藩校サミット

開催コンセプトは

小林友明
(新政策研究会)

問 全国藩校サミットは、第1回が東京都の湯島聖堂で行われて以降、毎年藩校ゆかりの地で開かれて、今年で11回を数え、来年7月には本市で開催予定と聞いている。

これまでに開催の藩校をみると、会津藩の日新館、水戸藩の弘道館、薩摩藩の造士館等々、藩校教育の理念と伝統がしっかりと受け継がれている。

明治時代に忍藩の進脩館は藩校としての実態がなくなり、かつ市内に遺構もない今の状況下で、本市は来年の全国藩校サミットをどのようなコンセプトで開催するのか。

答 忍藩の歴史的・文化的価値に光を当て、藩校進脩館の優れた人材教育、実務教育を見直し、かつ漢字文化の浸透と振興を図ることによって、人づくり、まちづくりに生かすことを主眼としている。

また、歴史に造詣が深く関心の高い藩校関係者を通じて、観光振興の面で、観光資源が数多く存在する本市を広く全国にアピールできると考える。

問 来年7月の開催まで1年を切り、全国から参加者を迎えるサミットの準備に向け、実行委員会の構成メンバーと立ち上げはどのようになるか。

また、藩校サミット大会運営の主体はどこがなるのか、本市はどのように係わるのか。

答 実行委員会は、財団法人忍郷友会を中心に、行田商工会議所を初め、各種団体の代表者などで、9月下旬に設立予定である。また、忍郷友会が藩校サミット大会運営の中心を担うことになり、本市では教育委員会内に実行委員会の事務局を置き、忍郷友会と連携して運営に当たっていく。

○全国高等学校女子公式野球大会開催について